

2 学 期	F「真の自立とは」（鷺田清一） G「無駄と進化」（中屋敷 均） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代社会に関心を持ち、筆者の説く内容を理解して自分の考えを深め、他者と話し合いをしようとして、「自立」について自分の考えをまとめようとしている。 ・遺伝子の変異についての筆者の主張を理解し、無駄と思われるもの、予定外に起こることなどへの考えを深め、まとめようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
3 学 期	H「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」（松田雄馬） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の人間と人工知能の比較を通し、「自分の人生を生きる」行為について、自分の考えをもち、さらに深めようとしている。 ・新聞等で人工知能についての情報を収集し、人工知能のメリット、デメリット、扱い方等について考えをまとめようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
										合計 70

都立篠崎高等学校 令和7年度(1学年用) 教科 国語 科目 言語文化

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組：角・間宮・若菜）（2組：角・間宮・若菜）（3組：角・間宮）（4組：角・間宮・若菜）（5組：角・間宮・若菜）（6組：角・間宮・若菜）

(7組：角・間宮・若菜)

使用教科書：（『精選 言語文化』（東京書籍））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力が深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

[illegible]

高等学校 令和7年度 教科		地理歴史	科目 地理総合
教科： 地理歴史	科目： 地理総合	単位数： 2	単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組			
教科担当： (1～6組：沢野) (7組：小黒)			
使用教科書： (教科書：東京書籍「地理総合」 地図帳：帝国書院「新詳高等地図」	資料集：新詳地理資料COMPLETE		
教科 地理歴史	の目標：		
【知識及び技能】	現代世界の地域的特色に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。		
【思考力、判断力、表現力等】	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。		
【学びに向かう力、人間性等】	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。		
科目 地理総合	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・緯度経度、地図の種類、統計地図、GISなど ・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。	【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。				5
	結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・領域の三要素、国境、排他的経済水域、国際連合、南北・南南問題、グローバル化と通信技術など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然とによってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。				5
	中間考査						1
	世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地形的特徴や自然とによってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	・営力、変動帯、安定地域、プレート、火山、地震、河川地形、海岸地形、氷河地形、地形が生活に与える影響など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然とによってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。				9
	世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と生活文化の関係性に着目して、人間の生活の工夫について主体的に追究、解決しようとしている。	・大気の大循環、ケッペンの気候区分、気候区分ごとの植生、気候と生活文化（衣食住）の関係性、モンスーンなど ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 気候変動によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。				9
	期末考査						1

2 学 期	世界の言語・宗教、歴史と結びついた人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が社会集団における文化的要素から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことなどについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる文化圏の特徴や宗教との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 文化的な社会集団間で生じる紛争等の課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	・文化、言語、民族、宗教、資源、経済発展、産業など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が社会集団における文化的要素から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる文化圏の特徴や宗教との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文化的な社会集団間で生じる紛争等の課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	中間考査						1
	世界の産業と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、地域の産業が気候や文化的特徴から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、グローバル化に伴って変容することなどについて理解できている。 【思考力・判断力・表現力等】 地域の産業について主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地域の産業の発展とそれに伴って生じる課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	・農業、工業（アメリカ、中国、韓国、ヨーロッパ）など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、地域の産業が気候や文化的特徴から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、グローバル化に伴って変容することなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 地域の産業について主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域の産業の発展とそれに伴って生じる課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	期末考査						1
3 学 期	地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・地球的課題（環境問題、エネルギー問題、人口問題、経済格差、食料問題、都市・村落問題）など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用 地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解できている。 【思考・判断・表現】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	持続可能な地域づくりと私たち 【知識及び技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・日本と自然災害、防災など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用 地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解できている。 【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

公民

科目

公共

教科：公民 科 目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組： ）（2組： ）（3組： ）（4組： ）（5組： ）（6組： ）（7組： ）

使用教科書：（ 高等学校 新公共（第一学習社） ）

教科 公民 目標：

【知識及び技能】	・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	・現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を適用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解する。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目し考える。 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決する。	【内容】 第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理 【使用教材】 ・授業プリント ー人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解している。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決する。	【内容】 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 【使用教材】 ・授業プリント ー人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・憲法の下、適正な手続きに基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	【知識及び技能】 ・よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・幸福、正義、公正などに着目して、民主政治における個人と国家のあり方について、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・政治参加と公正な世論の形成、国際社会のルールと仕組み、国際社会と平和主義に関わる諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。	【内容】 第2章 政治的な主体となる私たち 【使用教材】 ・授業プリント ー人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民主政治における個人と国家のあり方について、幸福、正義、公正の観点から判断し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしことを、論議をもって表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・国民の政治参加、国際政治の諸課題について、主体的に考察し、主権者として社会に関わる意識を高めようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・幸福、正義、公正などに着目して、主として経済に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面に関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れたら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きに関わる諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。	【内容】 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【使用教材】 ・授業プリント ー人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・現代の経済と市場、金融の働き、財政の役割と持続可能な社会保障制度、労働者と労働問題、グローバル化する国際経済などに関わる事柄や課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・幸福、正義、公正などに着目して、主として経済に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面に関連させ、その主題の解決に向けて論議をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・現代の経済と市場、金融の働き、財政の役割と持続可能な社会保障制度、労働者と労働問題、グローバル化する国際経済などについて、自己の生活と結びつけて考察しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 これまでに習得した知識・技能を活用し、それぞれが選択した現代社会の諸課題について、必要な情報を収集し、まとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に論議して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論議を基に自分の考えを説明、論述する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。	【内容】 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【使用教材】 ・授業プリント ー人1台端末の活用	【知識及び技能】 これまでに習得した知識・技能を活用し、それぞれが選択した現代社会の諸課題について、必要な情報を収集し、まとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これまでの学習を基盤に地域社会や国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成の課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、論議を基に自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度等】 ・持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科		数学	科目	数学 I
教 科：	数学	科 目：	数学 I	単位数： 3 単位
対象学年組：第	1 学年	1 組～	7 組	
教科担当者：	（1組：松井/吉川）	（2組：松井/吉川）	（3組：吉川/松井）	（4組：井出/井上）（5組：井上/井出）（6組：春田/井出）（7組：井上/春田）
使用教科書：	（ 新編 数学 I 数研出版 ）			

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知 識 及 び 技 能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 章 数と式 【知識及び技能】 ・ 指数法則や乗法公式といった計算規則についての理解を深め、適切に式を変形することができる。 ・ 乗法公式を逆に用いることで因数分解の公式として利用できることを理解し、式を正しく因数分解することができる。 ・ 不等式の意味やその基本性質、不等式の解と不等式を解くことの意味について理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 式を多面的に捉える工夫の中から、目的に応じて適切な方法を判断することができる。 ・ 式の特徴に応じて、式の一部を1つの文字に置き換えて考えたり、特定の文字に着目して整理するなど、見通しをもって式を因数分解したりすることができる。 ・ 具体的な数の大小関係をもとにして、不等式の基本性質について考察したり、説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 式を多面的に捉えて、複数の方法で式を変形する方法について、それぞれのよさを比較・検討しようとしている。 ・ 式を多面的に捉えて、複数の見方で式を整理して因数分解する方法について、それぞれの良さを比較・検討しようとしている。 ・ 具体的な数の大小関係をもとにして、不等式の基本性質について考察したり、説明したりしようとしている。	1 章 数と式 1 節 式の計算 1 展開 2 因数分解 2 節 実数 1 実数 2 根号を含む式の計算 3 節 1 次不等式 1 不等式と 1 次不等式 2 不等式の応用	【知識・技能】 ・ 2次の乗法公式、因数分解の公式について理解を深めている。 ・ 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 ・ 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 問題を解決する際に、すでに学んだ計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・ 不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・ 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 数と式で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 数と式で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	2 章 集合と論証 【知識及び技能】 ・ 集合に関する基本的な概念や記号の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・ 命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件の用語の定義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考察することができる。 ・ 条件や命題の真偽について、それらを集合の包含関係と関連付け、図表示による表現を用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考えようとしている。 ・ 条件や命題の真偽について、それらを集合の包含関係と関連付け、図表示による表現を用いて考えようとしている。	2 章 集合と論証 1 節 集合 1 集合 2 節 命題と論証 1 命題と条件 2 論証	【知識・技能】 ・ 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 集合と論証で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 集合と論証で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	9
	3 章 2 次関数 【知識及び技能】 ・ 2次関数の意味や関数の値の表し方、及び2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、2次関数の式を平方完成するなどして、グラフをかくことができる。 ・ 関数の定義域・値域の意味を理解し、1次関数や2次関数のグラフを用いて最大値、最小値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 2つの2次関数のグラフの位置関係について考察することができる。 ・ 2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を論理的に考察したり、具体的な問題の解決に活用したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 2つの2次関数のグラフの位置関係について考えようとしている。 ・ 2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を考えようとしている。	3 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ 1 2 次関数 2 2 次関数の最大・最小	【知識・技能】 ・ 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・ 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 2次関数で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	○	○	○	8

	定期考査			○	○		1
--	------	--	--	---	---	--	---

2 学 期	3章 2次関数 【知識及び技能】 ・ 2次関数を決定するための条件について基礎的な知識を身に付け、グラフに関する条件から2次関数を決定することができる。 ・ 判別式を用いて、2次方程式の解の個数を調べることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 2次関数のグラフとx軸の共有点について、2次方程式の実数解と関連させて考察することができる。 ・ 2次方程式の実数解の個数に対する判別式の意義や有用性について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 2次関数のグラフとx軸の共有点を、2次方程式の実数解と関連づけて考えようとしている。 ・ 判別式を活用して2次方程式の実数解の個数の分析を考えようとしている。	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 3 2次関数の決定 2節 2次方程式と2次不等式 4 2次関数のグラフとx軸の共有点 5 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数	【知識・技能】 ・ 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 2次関数で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	3章 2次関数 【知識及び技能】 ・ 2次不等式の解と2次関数のグラフの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 2次不等式を利用して具体的な問題について解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係を活用して2次不等式の解を考えようとしている。	3章 2次関数 2節 2次方程式と2次不等式 6 2次不等式	【知識・技能】 ・ 2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 2次不等式を利用して具体的な問題について解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係を活用して2次不等式の解を考えようとしている。	○	○	○	9
	4章 図形と計量 【知識及び技能】 ・ 正接、正弦、余弦の意味を理解し、それらを用いて三角形の辺の長さを求めることができる。 ・ 正弦定理や余弦定理を用いて、外接円の半径を求めたり、既知の辺や角から残りの辺や角の大きさを求めたりすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象を三角比を利用してその問題を解決することができる。 ・ 三角比を用いて三角形の構成要素間の関係を考察したり、それらの関係が一般の三角形においても成り立つことを説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 三平方の定理や正接の定義を利用して、三角比の間に成り立つ関係を考えようとしている。 ・ 点の座標を用いて鋭角の三角比を表現したり、それをもとにして鈍角の三角比の定義について考えたりしようとしている。 ・ 三角比を用いて三角形の面積公式を導こうとしている。	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 1 直角三角形と三角比 2 三角比の相互関係 2節 三角比の拡張 1 三角比と座標 2 三角比の性質 3節 三角比への応用 1 正弦定理・余弦定理・面積の公式 2 空間図形の計量	【知識・技能】 ・ 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・ 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 ・ 三角比を鈍角まで拡張する意義と、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 ・ 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 図形と計量で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 図形と計量で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
3 学 期	5章 データの分析 【知識及び技能】 ・ 偏差、分散、標準偏差の定義とその意味や特徴を理解し、データをもとにそれらを求めることができる。 ・ 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・ 偏差の総和を用いてデータの散らばりの大きさを表す方法の短所を見出し、分散の定義について考察したり、標準偏差を用いることの意義について説明したりすることができる。 ・ 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 偏差の総和を用いてデータの散らばりの大きさを表す方法の短所を見出し、分散の定義や標準偏差を用いる意義について考察したりしようとしている。 ・ 不確実な事象の起こりやすさに着目し、首長の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりしようとしている。	5章 データの分析 1節 データの分析 1 データの散らばり 2 データの相関 2節 データの分析の応用 1 データの分析を利用した問題解決 3節 仮説検定の考え方 1 仮説検定の考え方 2 不等式の応用	【知識・技能】 ・ 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。 ・ コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 ・ 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・ 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 ・ 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ データの分析で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ データの分析で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

数学

科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当： (1 組：井出) (2 組：井出) (3 組：井出) (4 組：石井) (5 組：吉川) (6 組：吉川) (7 組：吉川)

使用教科書： (新編 数学A 数研出版)

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	準備 集合、1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 集合に関する基本的な概念や記号の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・ 具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考察することができる。 ・ 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考えようとしている。 ・ 場合の数と確率で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 場合の数と確率で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	準備 集合 1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1 集合の要素の個数 2 場合の数	【知識・技能】 ・ 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・ 和集合・補集合の要素の個数、和の法則や積の法則を利用した場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察したり、和の法則や積の法則を利用して場合の数を計算したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 集合の要素の個数を図や補集合を用いて考えたり、積の法則による場合の数の計算方法を考えたりしようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 場合の数と確率で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	1節 場合の数 3 順列 4 組合せ	【知識・技能】 ・ 順列の総数 nPr や階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができる。 ・ 円順列や重複順列について理解し、それらの総数を計算することができる。 ・ 組合せの総数 nCr を理解し、計算することができる。 ・ 順列や組合せの考えを用いて、同じものを含む順列の求め方を理解し、総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・ 並び方の違いによって、その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができる。 ・ 並び方の総数が一致する場合の法則性を考察することができる。 ・ 同じものを含む順列の総数の求め方を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 順列や組合せの考えを用いて、並び方の総数が一致する場合の法則性や同じものを含む順列の総数の求め方を考えようとしている。 ・ 円順列及び重複順列について図をかかなくなどしながら、立式して場合の数の求め方を考えようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・ 事象を集合で表したり、事象の確率を求めたりすることができる。 ・ 積事象と和事象の確率について理解している。 ・ 排反事象と確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができる。 ・ 確率の基本性質や余事象の確率について理解し、和事象の確率や余事象の確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 同様に確からしいことを利用して、事象の確率の考え方を説明することができる。 ・ 互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。 ・ 余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき、余事象を積極的に活用しようとしている。	1章 場合の数と確率 2節 確率 5 事象と確率 6 確率の基本性質	【知識・技能】 ・ 事象を集合で表したり、事象の確率を求めたりすることができる。 ・ 積事象と和事象の確率について理解している。 ・ 排反事象と確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができる。 ・ 確率の基本性質や余事象の確率について理解し、和事象の確率や余事象の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 同様に確からしいことを利用して、事象の確率の考え方を説明することができる。 ・ 互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。 ・ 余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき、余事象を積極的に活用しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 - 独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解し、その確率を求めることができる。 - 反復試行の確率を理解し、反復試行の確率を求めることができる。 - 条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を求めることができる。 - 期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 独立な試行の確率はそれぞれの事象の確率の積に等しいことに着目し、具体例を通して考察することができる。 - 反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができる。 - これまで求めてきた確率と条件付き確率の違いを説明することができる。 - 期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 独立な試行の確率を求めるために、それぞれの事象の確率の積に着目して、そのことを活用しようとしている。 - 反復試行の確率について、組合せの考え方と関連付けて考えようとしている。 - 期待値を具体的な問題の意思決定に利用しようとしている。	2節 確率 7 独立な試行と確率 8 条件付き確率 9 期待値	【知識・技能】 - 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 - 条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 - 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 - 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 - 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 場合の数と確率で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 - 場合の数と確率で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	8
	2章 図形の性質 【知識及び技能】 - 三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比などについて理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。また、数直線上の内分点、外分点の座標を求めることができる。 - 三角形の外心・内心・重心の性質を利用して、角の大きさや線分の長さを求めることができる。 - チェバの定理、メネラウスの定理を利用していろいろな辺の長さや比を求めることができる。 - 方べきの定理を利用して線分の長さを求めることができる。 2つの円の位置関係から補助線を引くことによって、線分の長さを求めることができる。 - 空間における2直線・2平面のなす角を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 - 三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について、様々な性質を利用しながら考察することができる。 - 円に内接する四角形の定理、接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について、円周角の定理を利用して考察することができる。 - 方べきの定理の証明について、三角形の相似を利用して考察することができる。 - 空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について、平面上に含まれる直線に着目して考察したり、説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について、様々な性質を利用しながら考えようとしている。 - 方べきの定理の証明について、三角形の相似を利用して考えようとしている。 - 空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について、平面上に含まれる直線に着目して説明しようとしている。	2章 図形の性質 1節 平面図形 1 三角形の辺と比 2 三角形の外心・内心・重心 3 チェバの定理・メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 5 円と直線 6 2つの円 7 作図 2節 空間図形 8 直線と平面 9 空間図形と多面体	【知識・技能】 - 三角形に関する基本的な性質について理解している。 - 円に関する基本的な性質について理解している。 - 空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 - 図形の構成要素間の関係や既に学んだ図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 - コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 図形の性質で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 - 図形の性質で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	3章 数学と人間の活動 - 倍数の判定法を利用して倍数を理解している。 - 素因数分解を用いて約数を調べることができる。 - 最大公約数・最小公倍数を求めることができる。 - あまりの性質を理解している。 - ユークリッドの互除法を用いて最大公約数を求めることができる。 - 互除法を活用して1次不定方程式を求めることができる。 - n進法の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - ユークリッドの互除法の仕組みを考察することができる。 - 空間内の点の位置を表す方法を考察することができる。 1次不定方程式を活用して問題を考察することができる。 - n進法の特徴について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - ユークリッドの互除法の仕組みを考えようとしている。 - 空間内の点の位置を表す方法を考えようとしている。 - 問題について2元1次不定方程式を活用して考えようとしている。 - n進法の特徴について考えようとしている。	3章 数学と人間の活動 1 約数と倍数 2 素数と素因数分解 3 最大公約数・最小公倍数 4 整数の割り算 5 ユークリッドの互除法 6 1次不定方程式 7 記数法 8 座標の考え方	【知識・技能】 - 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解している。 - 整数の性質や余りの性質を理解している。 - 数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めている。 【思考・判断・表現】 - 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。 - パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 数学と人間の活動で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 - 数学と人間の活動で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教 科： 理科 科 目： 化学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （ 1組、2組、3組、4組：岩崎）（5組、6組、、7組：川守田）

使用教科書： （ 新編 化学基礎（東京書籍） ）

教科 理科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物、現象から疑問を見いだすことができ、その疑問に対して仮説を立てることができる。

【学びに向かう力、人間性等】グループワークや実験において自分の意見を発表する等、周囲に対して配慮しながらコミュニケーションをとることができる。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物、現象についての基本的な概念法則を身に付ける。また、実験においては器具を安全に使用することができる。	自然の事物、現象から疑問を見出し、その疑問に対して仮説をすることができる。また、周囲と疑問点に関して議論を行うことができる。	実験やグループワーク等において、他者に配慮しながら行動することができる。また、他者の意見を取り入れながら、自分の考えを熟成させることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	化学とはなにか ・化学と物質について、化学の特徴を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学と物質について、問題を見出し、見通しをもって実験などを行い、化学的に考察し表現する。 ・化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり、化学的に探究しようとする態度を養う。	・化学とは何か	・化学と物質についての実験などを通して、化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・化学の特徴について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	1
	物質の成分と構成元素 ・化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態の事を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学と物質について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、化学的に考察し表現する。 ・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、化学的に探究しようとする態度を養う。	・物質の成分 ・物質の構成元素 ・物質の三態	・化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	原子の構造と周期表 ・物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表の事を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出して表現する。 ・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子の構造 ・電子配置と周期表	・物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
	化学結合 ・物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の事を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出して表現する。 ・物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・化学結合と物質の分類	・物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

2 学 期	物質質量と化学反応式 ・物質質量と化学反応式についての実験などを通して、物質質量、化学反応式のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・物質質量と化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、物質質量、化学反応式を見出して表現する。 ・物質質量、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・原子量・分子量・式量 ・物質質量 ・溶液の濃度 ・化学反応の表し方 ・化学反応式の表す量的関係	・物質質量と化学反応式についての実験などを通して、物質質量、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・物質質量、化学反応式について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・物質質量、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	酸と塩基 ・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出して表現する。 ・酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ・中和反応	・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則のなどを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・酸・塩基と中和について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	酸化還元反応 ・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出して表現する。 ・酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・金属の酸化還元反応 ・酸化還元反応の応用	・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・酸化と還元について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科： 理科 科目： 生物基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （ 1 組、2 組、3 組：川守田 ） （ 4 組、5 組、6 組、7 組：遊佐 ）

使用教科書： （ 高校生物基礎 実教出版 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物、現象から疑問を見いだすことができ、その疑問に対して仮説を立てることができる。

【学びに向かう力、人間性等】グループワークや実験において自分の意見を発表する等、周囲に対して配慮しながらコミュニケーションをとることができる。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生命現象や、自然の事物・現象について基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生命現象や、自然の事物・現象について疑問に思ったことを、他者と共有する中で、新たな発見や課題を見つけ、それに対して探究することができる。	生命現象や、自然の事物・現象に対して積極的に関わり、それらに対する気付きから仮説を立て、自ら課題解決を図ろうとする。生命を尊重し、自然環境の保全に努めようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生物の多様性と共通性 ・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解する。 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解する。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解する。	生物の特徴 ・生物の多様性と共通性	・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解している。試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。原核細胞と真核細胞の違いについて、細胞小器官の違いとともに理解している。（知識及び技能） ・生物や細胞の観察から課題を見だし、仮説の設定、実験による検証、調査、結果の分析、考察ができる。（思考力、判断力、表現力等） ・生物や生物現象に授業や実験、観察を通して主体的に関わり、自身の学び方を調整しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
	細胞とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 ・代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのかを実験を通して見いだす。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解する。	生物の特徴 ・生物とエネルギー	・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。（知識及び技能） ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察、それを表現できる。カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。（思考力、判断力、表現力等） ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	遺伝情報とDNA ・DNAの構造や性質を研究史を展開しながら理解する。DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解する。 ・DNAが体細胞分裂の際に、複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解する。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解する。	遺伝子とその働き ・遺伝情報とDNA	・DNAが二重らせん構造であること、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。（知識及び技能） ・資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いだすことができる。DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。（思考力、判断力、表現力等） ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見いだし、理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
	遺伝情報とタンパク質の合成 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解する。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解する。 ・すべての遺伝子がすべての細胞で発現しているわけではないことを理解する。資料等から、発現する遺伝子の変化により、細胞が分化することを理解する。	遺伝子とその働き ・遺伝情報とタンパク質の合成	・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。（知識及び技能） ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。（思考力、判断力、表現力等） ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	体内環境 - 動物が体内環境をもち、外界からの影響を適切に調節していることを理解させる。 - 恒常性により、体内環境が保たれていることを理解させる。 - 体液を調節することで、体内環境が保たれていることを理解させる。	ヒトのからだの調節 体内環境	- 体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。（知識及び技能） - 腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。（思考力・判断力・表現力等） - 外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
	体内環境の維持のしくみ - 体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解させる。 - 体内環境の調節に、神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。 - 体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解させる。 - ヒトの体液濃度の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 - 血糖濃度がホルモンと自律神経が関わるしくみで調節されていることについて理解させ、調節ができなくなったときに発症する疾患についても触れる。	ヒトのからだの調節 体内環境の維持のしくみ	- 神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。（知識及び技能） - 体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解することができる。血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる。（思考力・判断力・表現力等） - 観察、実験に基づいて、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見だし、理解しようとする。資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見だし、理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	免疫 - ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。 - 病原体の侵入を防ぐための、異物を認識し、排除するしくみを理解する。 - 免疫のしくみの概要を取り上げ、体液性免疫や細胞性免疫について理解する。 - 一次応答と二次応答の違いを理解	ヒトのからだの調節 免疫	- 病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。（知識及び技能） - 資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。（思考力・判断力・表現力等）	○	○	○	6
	生態系とその成り立ち - 生物は環境からの影響を受けながら存在し、生態系には多様な生物が存在することを理解する。 - 陸上には、草原や森林などのさまざまな植生があることを理解する。 - 遷移の事例や資料を通して、植生は不変ではなく、光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解する。	生物の多様性と生態系 - 生態系とその成り立ち - 植生とパイオーム	- 陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 - 植生の遷移についてその過程を理解している。（知識及び技能） - 生物や植生の観察から課題を見だし、仮説の設定、実験による検証、調査、結果の分析、考察ができる。（思考力、判断力、表現力等） - 植物の観察や授業での探究活動に主体的に関わり、自身の学び方を調整しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	生態系とその成り立ち - 生態系の多様な生物の中の、生物同士のつながりについて理解する。 - 生態系にはバランス関係が成り立っていることを理解する。 - 人間生活による環境への影響について理解する。 - 生態系保全の重要性について理解する。	生物の多様性と生態系 - 生態系と生物の多様性 - 生態系のバランスと保全	- 生物どうしの関係性について、捕食・被食の関係について、個体数の周期的な変動が起こることを理解している。 - 人間生活によって、地球環境にさまざまな悪影響を及ぼしていることを理解している。（知識及び技能） - 外来生物や人間生活による環境汚染から課題を見だし、仮説の設定、実験による検証、調査、結果の分析、考察ができる。（思考力、判断力、表現力等） - 生態系のバランスについての探究活動に主体的に関わり、自身の学び方を調整しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計 65

高等学校 令和7年度 教科				保健体育	科目	体育
教 科：	保健体育	科 目：	体育	単位数：	2	単位
対象学年組：第	1 学年	1 組～	7 組			
教科担当者：	若林・山下					
使用教科書：	(大修館書店 ステップアップ高校スポーツ2025)					
教科	保健体育	の目標：				

- 【知識及び技能】運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、体力の必要性について理解しようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する。一人ひとりの違いを大切にしようとする意欲を育て、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

科目	体育	の目標：
【知識及び技能】基礎体力を向上と基本的な運動技能の習得を目指し、運動の楽しさや喜びを味わおうとする。運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能を身につけようとする。		
【思考力、判断力、表現力等】運動を通して自分を知り、自己の課題にあった解決方法を見つけることができる。グループ活動を通して、自己の考えを他者に伝える力を養う。これまでの活動を振り返り、改善案を考え実行することができる。		
【学びに向かう力、人間性等】自ら進んで集団の中で役割を果たし、周りと協力してスポーツを楽しみ、仲間を大切にできる。		

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 男子 陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこ となどや、健康・安全を確保すること。	○短距離走 ・合理的なフォームを身に付け、個人のタイムを短縮し、競走できるようにする。 ・スタートダッシュは地面を力強くキックして、徐々に状態を起こして加速できるようにする ・疾走後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカルな動きで走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこ となどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	6	
B 男子 ソフトボール 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするこ と、作戦などについての話し合いに貢献しようとするこ と、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ と、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・身体軸を安定させてバットを振りぬくこと。 ・タイミングを合わせてボールを捉えること。 ・ねらった方向にボールを打ち返すこと。 ・スピードを落とさずに目を離くように塁間を走ること。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を速に回り戻りすること。 ・捕球場所へ最短距離で移動 ・味方からの送球を受けるために、走者の進む先の塁に動くこと。 ・打球や走者の位置に応じて、中継プレイに備える動きをすること。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするこ と、作戦などについての話し合いに貢献しようとするこ と、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ と、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10	
C 男子 水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこ となどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強く蹴ること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするこ と、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこ となどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10	

1 学 期	A 女子 陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	○短距離走 ・合理的なフォームを身に付け、個人のタイムを短縮し、競走できるようにする。 ・スタートダッシュは地面を力強くキックして、徐々に状態を起こして加速できるようにする。 ・疾走後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムミカルな動きで走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	B 女子 バスケットボール 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 競技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・防脚をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 競技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	C 女子 水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は速くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて胸全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかにリズムミカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全身的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スクーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	D 男女体づくり運動 【知識及び技能】 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率的なよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。 ・調和のとれた体力の向上を図ったり、選択した運動やスポーツの場面で必要とされる体の動きを高めたりするために、効率的なよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。	【知識及び技能】 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	10

2 学 期	A 男子 水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて胸全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スクーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐとができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	6
	B 男子 バスケットボール 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	・防衛をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを運ぶこと。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶこと。 ・守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	8
	C 男子 サッカー 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	・防衛をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて胸全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スクーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	8
	A 女子 水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて胸全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。 ○平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。 ・スクーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐとができる。 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。	○	○	○	
	B 女子 ソフトボール 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	・身体を軸を安定させてバットを振りぬくこと。 ・タイミングを合わせてボールを捉えること。 ・おらった方向にボールを打ち出すこと。 ・バードを落とさずに用を描くように塁間を走ること。 ・打球や守備の状況に応じた塁の回り方で、塁を速んだり戻すこと。 ・打球場所へ最短距離で移 ・味方からの送球を受けるために、走者の進む先の塁に動くこと。 ・打球や走者の位置に応じて、中継プレイに備える動きをすること。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保することができる。	○	○	○	

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：（12組：赤峰）（3～7組：山下）

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けたことを言ったり書いたりできるようにする。	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え判断できるようにする。	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習に取り組めるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代社会と健康 【知識及び技能】 健康の保持増進に必要な事柄について、健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けたことを言ったり書いたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持増進に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習できるようにする。	健康の考え方と成り立ち ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 ・ワークシート、タブレット活用	【知識及び技能】 健康の保持増進に必要な事柄について、健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けたことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	1
		私たちの健康のすがた ・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。 ・ワークシート、タブレット活用	【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断している。	○	○	○	1
		生活習慣病の予防と回復 ・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。 ・ワークシート、タブレット活用	【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持増進に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	1
		がんの原因と予防 ・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。 ・ワークシート、タブレット活用		○	○	○	1
		がんの治療と回復 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。 ・ワークシート、タブレット活用		○	○	○	1
		運動と健康 ・健康と運動の関係について説明できる。 ・目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる。		○	○	○	1
		食事と健康 ・食事と健康の関係について説明できる。 ・健康的な食事のとり方について説明できる。		○	○	○	1
		休養・睡眠と健康 ・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。 ・健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について説明できる。		○	○	○	1
		定期考査		○	○		1

2 学 期	現代社会と健康	喫煙と健康 ・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。 飲酒と健康 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。 薬物乱用と健康 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができる。 精神疾患の予防 ・精神疾患を予防する方法について説明できる。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。 精神疾患からの回復 ・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。 ・精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。 現代の感染症 ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 ・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。 感染症の予防 ・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 ・感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。 性感染症 ・エイズとその予防・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。 ・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。 定期考査	【知識及び技能】 健康の保持増進に必要な事柄について、健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けたことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	1
			【知識及び技能】 健康の保持増進に必要な事柄について、健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けたことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	1
			【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断している。	○	○	○	1
			【学びに向かう力、人間性等】 健康の保持増進に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	1
				○	○	○	1
				○	○	○	1
				○	○	○	1
3 学 期	安全な社会生活	健康に関する意思決定 ・行動選・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 ・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。 健康に関する環境づくり ・社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。 事故の現状と発生要因 ・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。 安全な社会の形成 ・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。 交通における安全 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故における責任を3つに分けて説明できる。 定期考査	【知識及び技能】 安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること及び安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、課題解決に役立つ知識を身に付けたことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	1
			【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断している。	○	○	○	1
			【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会生活に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	1
				○	○	○	1
				○	○	○	1
				○	○	○	1
				○	○		1

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組
教科担当者： 保坂 悠紀
使用教科書：（ 高校生の音楽1（教育芸術社 音Ⅰ702） ）
教科 芸術 音楽 の目標：

【知識及び技能】 創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。

【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。
音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑 賞					
1 学 期	A 斉唱「校歌」「翼をください」 【知識及び技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組む。	・発声練習 ・鑑賞「校歌」 ・歌唱「校歌」 ・歌詞の内容と表現「校歌」 ・歌唱「翼をください」 ・歌詞の内容と表現「翼をください」 ・歌唱テスト「校歌」	○			○	【知識・技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現している。 【思考・判断・表現】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	B 合唱 【知識及び技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色・旋律・テキストュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える。 ②どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもち、	・発声練習 ・参考音源鑑賞 ・各パート音取り ・パート練習 ・合唱 ・歌詞の意味 ・この曲ができるまで	○				【知識・技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 ①音色・旋律・テキストュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えている。 ②どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもち、	○	○	○	10
	A 「のぼら」 【知識及び技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組む。	・発声練習 ・鑑賞「のぼら」 ・歌唱「校歌」 ・歌詞の内容と表現「のぼら」 ・歌唱テスト	○			○	【知識・技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現している。 【思考・判断・表現】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10

2 学 期	B ギター 【知識及び技能】 ①ギターの構造や奏法について理解することができる。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ギターやギターの音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組む。	・ギターの構造 ・ギターの基本的な奏法 ・ポジション表 ・音階練習（1.2弦） ・指の練習 ・「きらきら星」練習 ・実技テスト	○	○	【知識・技能】 ①ギターの構造や奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現している。 【思考・判断・表現】①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①ギターやギターの音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	20
	C 鑑賞「レ・ミゼラブル」 歌唱「民衆の歌」 【知識及び技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解する。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。 ③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わう。 ②音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことや感受したことを考える。 ③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴く。 ④どのように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ①「レ・ミゼラブル」に描かれている社会問題や登場人物の心情に関心をもち、 ②主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組む。	・ミュージカルの歴史 ・ミュージカルの特徴 ・ミュージカルの代表作 ・「レ・ミゼラブル」の時代背景と社会問題 ・鑑賞「レ・ミゼラブル」 ・歌唱「民衆の歌」 ・英語の読み ・英語の意味 ・発声練習 ・歌唱練習 ・音楽用語（表現・強弱等） ・歌唱テスト	○	○	【知識・技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解している。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。 ③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わっている。 ②音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことや感受したことを考えている。 ③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 ④どのように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①「レ・ミゼラブル」に描かれている社会問題や登場人物の心情に関心をもち、 ②主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
3 学 期	A 「さびしいカシの木」 【知識及び技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもち、 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組む。	・発声練習 ・鑑賞、歌唱「さびしいカシの木」 ・歌詞の内容と表現 ・歌唱テスト	○	○	【知識・技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現している。 【思考・判断・表現】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもち、 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	A ミュージックベル 【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法について理解することができる。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組む。 ②アンサンブルの演奏をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組む。	・ミュージックベルの基本的な奏法 ・英語音名、イタリア語音名 ・グループ決め、担当決め ・ミュージックベル用楽譜作り ・グループ練習 ・グループ発表・鑑賞	○	○	【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組もうとしている。 ②アンサンブルの演奏をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8

高等学校 令和 7 年度（1 学年用）教科 芸術 科目 美術 I

教 科： 藝術

科目：美術 I

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（１組：武藤） （２・３組：武藤） （４・５組：武藤） （６・７組：関崎） （組： ） （組： ）

使用教科書：（ 高校生**の美術1** 日本文教出版 ）

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】美術の基礎的な知識・技術を学び、作品の制作に生かすことができる。

【思考力、判断力、表現力等】基礎的な知識と技術を基に、課題についての考えを深め、美的且つ効果的に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】芸術を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く作品に取り組むことができる。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
デッサンの見方と技術、色とかたちの基本的知識の修得、アイデアスケッチの方法とアイデアを深めるための技術、配色計画と彩色技術、レタリング技術を学び、制作に生かすことが出来るようにする。	与えられた課題に対して、学んだ知識と技術を基に、考えを深め、美的且つ効果的に工夫して表現することができる。	主体的に授業に取り組み、美術の授業を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く制作に取り組むことができる。

[illegible]

書道 科目 書道 I

单位数： 2 单位

5組：青山 (6組：青山 (7組：青山

)

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】 作品や書の文化の意味や価値を考え、書の美を捉えたりすることが出来るようにすること。

【学びに向かう力、人間性等】書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 楷書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 楷書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	楷書について					【知識及び技能】 楷書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 楷書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 行書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 行書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	行書について					【知識及び技能】 行書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 行書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	○	○	○	5
2 学 期	c 単元 【知識及び技能】 草書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 草書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 草書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	草書について					【知識及び技能】 草書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 草書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 草書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	○	○	○	5
	D 単元 【知識及び技能】 仮名の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	仮名について					【知識及び技能】 仮名の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	○	○	○	5
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 漢字仮名交じりの表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字仮名交じりの作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 漢字仮名交じりの伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	漢字仮名交じりについて					【知識及び技能】 漢字仮名交じりの表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字仮名交じりの作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来きたか。 【学びに向かう力、人間性等】 漢字仮名交じりの伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養えたか。	○	○	○	5 合計 25

2 学 期	C 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級を用いた形・意味・用法を理解し、聞き取ったり、自分の意見を伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本のマンガとその形式について本文から必要な情報を読み取り、他者に意見を聞いたり、自分の考えや意見をまとめ、話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 必要な情報を読み取ろうとしたり、話し手や書き手の意図・概要や要点を把握しようとすることができる。また、情報や自分の考えを伝えようとする可以尝试。	【題材内容】 日本のマンガの形式やその翻訳に関する留学生による発表 【言語材料】 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級 【言語の働き】 質問する、助言する、説明する、賛成する、理由を述べる 【一人1台端末の活用】 マンガを自分で作成	○	○	○	○	○	【知識・技能】 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級を用いた文の形・意味・用法を理解し、読んだり書いたり伝えたりできる。 【思考・判断・表現】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、日本のマンガとその形式について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報を読み取ろうとしたり、話し手や書き手の意図・概要や要点を把握しようとする力、また、伝えようとする力をつける。	○	○	○	7
	D 単元 Lesson 5 【知識及び技能】 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。	【題材内容】 ザンビアのパナナの茎から作られるバナナペーパーへの日本の伝統技術貢献に関する講義 【言語材料】 関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S+seem+to不定詞 【言語の働き】 質問する、説明する、理由を述べる、誘う 【一人1台端末の活用】 ザンビアの伝統的文化を調べ、他国との文化の違いについて調べる	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ①関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S+seem+to不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ②本文で使用されている語彙に関して理解をする。 【思考・判断・表現】 ①必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、バナナペーパー製品やバナナペーパーの販売促進について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、バナナペーパー製品の販売促進について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査								○	○	○	1
	D 単元 Lesson 6 【知識及び技能】 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。	【題材内容】 人間の興味深い行動パターンに関する実験の手順や結果を解説する雑誌記事 【言語材料】 It+be動詞+形容詞+that節、S+V [be動詞以外+C]、S+V+O+C [形容詞] 【言語の働き】 質問する、説明する、発表する、提案する 【一人1台端末の活用】 人間の行動に関する動画を視聴し、その感想や仮説などを英語で書く。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ①It+be動詞+形容詞+that節、S+V[be動詞以外+C]、S+V+O+C(形容詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ②本文で使用されている語彙に関して理解をする。 【思考・判断・表現】 ①必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人間の行動に関する心理学実験や手順について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、人間の行動に関する心理学実験や手順について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	7
	D 単元 Lesson 7 【知識及び技能】 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。	【題材内容】 プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文 【言語材料】 関係副詞where、関係副詞when、関係代名詞what 【言語の働き】 質問する、理由を述べる、描写する、説明する、発表する、報告する 【一人1台端末の活用】 プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策を考え、作文を書く。	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ①関係副詞（where when what）を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ②本文で使用されている語彙に関して理解をする。 【思考・判断・表現】 ①必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、環境問題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとしたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、環境問題について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査								○	○	○	1

3 学 期	D 単元 Lesson 8 【知識及び技能】 現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 フィッシュアンドチップスを元にイギリスや日本の食料資源について聞いたり読んだりしたことを活用しながら情報や自分の考えを整理し、理由や根拠と共に話したり書いたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 必要な情報を読み取ろうとしたり、話し手や書き手の意図・概要や要点を把握しようとする力や伝えようとする力を身に付けている。	【題材内容】 イギリス人ALTによるフィッシュ・アンド・チップスの歴史と食料資源に関する発表 【言語材料】 現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形 【言語の働き】 質問する、説明する、報告する、発表する 【一人1台端末の活用】 日本の食料資源について調べ、他国と比較しながらプレゼンテーション活動を実施							○	○	○	○	○					【知識・技能】 現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解し、読んだり書いたり伝えたりできる。 【思考・判断・表現】 フィッシュアンドチップスを元にイギリスや日本の食料資源について聞いたり読んだりしたことを活用しながら情報や自分の考えを整理し、理由や根拠と共に話したり書いたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報を読み取ろうとしたり、話し手や書き手の意図・概要や要点を把握しようとする力、また、伝えようとする力をつける。	○	○	○	7
	D 単元 Lesson 9 【知識及び技能】 5文型の形・意味・用法を理解し、聞き取ったり、自分の意見を伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 eスポーツの利点や欠点についての他者に意見を聞いたり、自分の考えや意見をまとめ、話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 eスポーツの現状、利点や欠点について他者の意見を聞き、理由や根拠とともに論理性に注意してやり取りできる。	【題材内容】 世界中の若者の間で人気が出てきているeスポーツの実況中継 【言語材料】 S+V [知識] +O+ [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O ₁ +O ₂ [if などの節] 【言語の働き】 質問する、理由を述べる、意見を言う、説得する、発表する 【一人1台端末の活用】 eスポーツの利点や根拠を英語で話す。							○	○	○	○	○					【知識・技能】 [知識] S+V [知覚] +O+C [現在分詞, 原形不定詞], S+V [使役] +O+C [原形不定詞], S+V+O ₁ +O [if などの節] を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考・判断・表現】 eスポーツの利点や欠点についての他者の意見を聞き、自分の考えをまとめて伝えるために、eスポーツの現状、利点や欠点などについて話される説明や対話から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 eスポーツの利点や欠点についての他者の意見を聞き、自分の考えをまとめて伝えるために、eスポーツの現状、利点や欠点などについて話される説明や対話から、必要な情報を聞き取ろうとしたり、話し手の意図、概要や要点を把握しようとしている。	○	○	○	7
	D 単元 Lesson 10 【知識及び技能】 wish+仮定法過去の節、仮定法過去のas if 節、仮定法過去のif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 写真家ヨシダナギさんの経験、過去と現在について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉え、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ヨシダナギさんについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 写真家ヨシダナギさんの経験、過去と現在について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えようとし、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ヨシダナギさんについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	【題材内容】 写真家ヨシダナギさんに関する雑誌記事 【言語材料】 wish+仮定法過去の節、仮定法過去のas if 節、仮定法過去のif節 【言語の働き】 説明する、仮定する、意見を言う、発表する、報告する 【一人1台端末の活用】 これまでの自分の経験を教科書で学んだことを使用しながら文章を書き、プレゼンテーション活動を実施							○	○	○	○	○					【知識・技能】 [知識] wish+仮定法過去の節、仮定法過去のas if 節、仮定法過去のif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] wish+仮定法過去の節、仮定法過去のas if 節、仮定法過去のif節などの理解を基に、写真家ヨシダナギさんの過去と現在について書かれた文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 写真家ヨシダナギさんについて知り、情報や自分の考えをまとめるために、ヨシダナギさんの過去と現在について書かれた文章から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 写真家ヨシダナギさんについて知り、情報や自分の考えをまとめるために、ヨシダナギさんの過去と現在について書かれた文章から、必要な情報を読み取ろうとしたり、書き手の意図、概要や要点を把握しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査																		○	○	○	1

